



イングランドの丘 ヒマワリ

わたしたちのまちの 景況レポート No. 38

2024 年 4～6 月期実績・2024 年 7～9 月期見通し

今日も 楽しい おつきあい



淡路信用金庫

調査概要

- 調査時期 : 2024 年 4～6 月期実績・2024 年 7～9 月期見通し
- 調査方法 : 当金庫の営業店職員による「聴取り」調査
- 調査企業数 : 669 社

製 造 業	151 社	卸 売 業	98 社	小 売 業	115 社
サービス業	115 社	建 設 業	141 社	不 動 産 業	49 社
- 調査地区 : 当金庫事業地区（洲本市、淡路市、南あわじ市、明石市、神戸市、芦屋市、西宮市、
 尼崎市、加古郡稲美町、加古郡播磨町、加古川市、高砂市、三木市）
- 分析方法 : D. I.（「良い」「増加」「上昇」の回答割合－「悪い」「減少」「下降」の回答割合）
 ※不変部分を除き、「良い」「悪い」のどちらの力がどれだけ強いかを調べる方法

指標	内容	プラス	マイナス
業況	調査時点での回答企業の業況「良い」－「悪い」	良い＞悪い	良い＜悪い
売上額	前期（四半期）と比較した売上「増加」－「減少」	増加＞減少	増加＜減少
収益	前期（四半期）と比較した収益「増加」－「減少」	増加＞減少	増加＜減少
販売価格	前期（四半期）と比較した販売価格「上昇」－「下降」	上昇＞下降	上昇＜下降
仕入価格	前期（四半期）と比較した仕入価格「上昇」－「下降」	上昇＞下降	上昇＜下降
人手過不足	調査回答時点での人手「過剰」－「不足」	過剰＞不足	過剰＜不足
資金繰り	前期（四半期）と比較した資金繰り「楽」－「苦」	楽＞苦	楽＜苦

設備投資企業割合 設備投資実施の有無

例

人手不足▲50とは

人手	(1)過剰 (2)やや過剰 (3)適正 (4)やや不足 (5)不足
----	-----------------------------------

↓ 回答数を集計し、回答割合を算出

	(1)過剰	(2)やや過剰	(3)適正	(4)やや不足	(5)不足	合計
回答数	35	35	210	280	140	700
回答割合	5.0%	5.0%	30.0%	40.0%	20.0%	100.0%

$$\text{人手不足} = \underbrace{10}_{(1)+(2)} - \underbrace{60}_{(4)+(5)} = \text{▲}50$$

【問合せ先】

淡路信用金庫 業務部

担当：玉田、^{もみのき}樺木、坂田

TEL：0120-22-1020

業種別地区別天気図

地区 業種	全事業地区 (669先)			淡路地区 (384先)			神明地区 (285先)		
時期	2024年 1～3月 (前期)	2024年 4～6月 (今期)	2024年 7～9月 (見通し)	2024年 1～3月 (前期)	2024年 4～6月 (今期)	2024年 7～9月 (見通し)	2024年 1～3月 (前期)	2024年 4～6月 (今期)	2024年 7～9月 (見通し)
総合									
製造業									
卸売業									
小売業									
サービス業									
建設業									
不動産業									

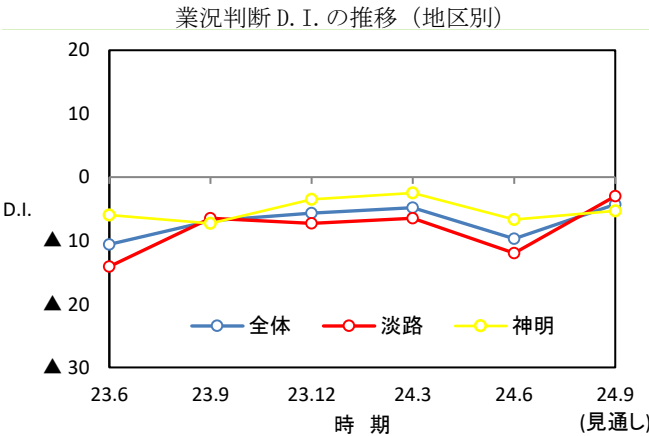
全業種

前期
今期
来期

今期（2024年4～6月期）の業況判断D.I.は▲9.7となり、前期（2024年1～3月期）▲4.8に比べ4.9ポイント悪化となり、依然として不安定な状況に変わりない。項目別では、売上額は1.8（前期▲5.5）と7.3ポイント改善、収益もマイナス幅が前期比4.3ポイント改善し▲5.7となった。販売価格では25.1（前期19.0）と6.1ポイント上昇し、仕入価格も47.9（前期36.5）と11.4ポイント上昇している。

人手不足感については▲22.4（前期▲25.9）とやや改善、資金繰りについては▲9.1（前期▲8.2）と悪化している。

来期（2024年7～9月期）の業況判断D.I.については▲4.3と5.4ポイントの改善を見込んでいる。他の項目でも、売上額・収益等小幅ながら改善する見込みである。業種別では不動産業を除く5業種で改善見通しである。



	24年3月 (前期)	24年6月 (今期)	24年9月 (見通し)
業況	-4.8	-9.7	-4.3
売上額(前期比)	-5.5	1.8	6.1
収益(前期比)	-10.0	-5.7	-1.3
販売価格(前期比)	19.0	25.1	16.1
仕入価格(前期比)	36.5	47.9	35.4
人手過不足(過剰－不足)	-25.9	-22.4	-24.5
資金繰り(楽－苦)	-8.2	-9.1	-6.7
設備投資実施企業割合(%)	16.5	14.4	14.4

製造業

前期 今期 来期

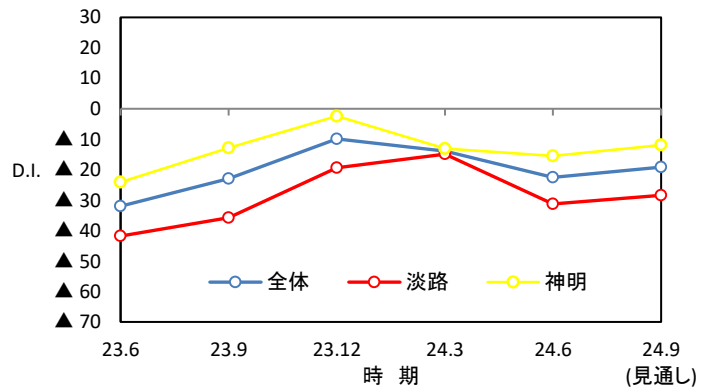
今期の業況判断 D. I. は▲22.5（前期▲13.9）となり 8.6 ㊦の悪化となった。地区別の業況は、淡路地区▲12.0(前期▲14.9)と 2.9 ㊦の改善、神明地区▲6.7(前期▲13.1)と 6.4 ㊦の改善となった。来期については、業況が▲19.2の3.3㊦とやや改善見通しで、売上額・収益なども増加見込みとなっている。

お客様の声

都市部での再開発に伴う需要が高まり、増収基調で推移、原材料価格は高止まりしているものの、売上価格に転嫁できている。又、人材確保が課題となっており、雇用条件や働き方改革などを実施し、従業員の定着を図っている。（淡路）

業況は安定しているも、社員の高齢化による定年退職に対応する為、新卒及び中途採用者の獲得と営業拠点集約を検討し、若干名の新卒社員を採用、集約については物件の確保に期間を要している。（神明）

業況判断 D. I. の推移（地区別）



(D.I.)

	24年3月 (前期)	24年6月 (今期)	24年9月 (見通し)
業況	-13.9	-22.5	-19.2
売上額(前期比)	-4.0	-2.0	4.0
収益(前期比)	-9.9	-8.0	-6.0
販売価格(前期比)	22.5	29.1	16.6
仕入価格(前期比)	49.0	52.3	42.4
人手過不足(過剰－不足)	-20.5	-18.5	-20.5
資金繰り(楽－苦)	-14.6	-18.5	-16.6
設備投資実施企業割合(%)	17.9	14.6	13.9

卸売業

前期 今期 来期

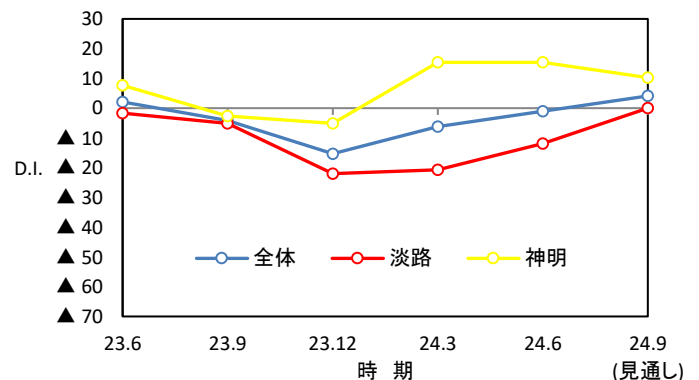
今期の業況判断 D. I. は▲1.0（前期▲6.2）となり 5.2 ㊦改善となった。地区別の業況は、淡路地区▲11.9(前期▲20.7)と 8.8 ㊦の改善、神明地区は15.4(前期15.4)と横ばいとなる。来期については4.1と5.1 ㊦改善の見通しで1年ぶりにプラスの見込であるが、売上額、収益は共に今期より減少する予想となっている。

お客様の声

売上については前年対比 105%で増加、今期は暖冬の影響で葉物野菜が早く市場に出ており、価格上昇したことが要因。災害対策は、耐震化、財産・休業補償に加入し、現預金も月商の3ヵ月を確保出来ている。（淡路）

業況は変わらず安定している。円安によるインバウンド需要の増加で免税部門の業績が好調である。経営上の問題点として人手不足の状況にある。昨年2名を雇用し、忙しさは多少緩和されている。（神明）

業況判断 D. I. の推移（地区別）



(D.I.)

	24年3月 (前期)	24年6月 (今期)	24年9月 (見通し)
業況	-6.2	-1.0	4.1
売上額(前期比)	-15.5	12.2	10.2
収益(前期比)	-19.6	7.1	4.1
販売価格(前期比)	17.5	31.6	26.5
仕入価格(前期比)	28.9	40.8	34.7
人手過不足(過剰－不足)	-18.6	-14.3	-17.3
資金繰り(楽－苦)	-4.1	-4.1	-4.1
設備投資実施企業割合(%)	17.5	12.2	16.3

小売業

前期

今期

来期

今期の業況判断 D.I. は▲12.2(前期▲5.2)となり7.0 ㊦悪化となった。地区別では、淡路地区▲19.5(前期▲8.5)と11.0 ㊦悪化、神明地区6.1(前期3.0)では3.1 ㊦の改善となった。来期の業況は、▲5.2と7.0 ㊦改善見通しであり、売上額・収益なども改善し増加する見通しとなる。

お客様の声

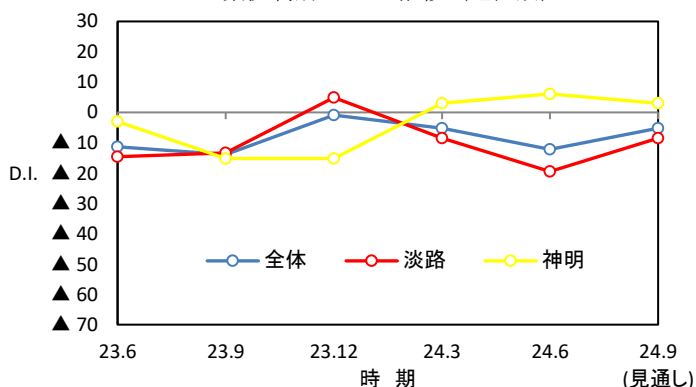
販売価格は随時見直しを実施しているものの、フランチャイズ主で価格改定されていることから、物価上昇に対して十分な対応ができていない。現在、正社員とパートの人員配置見直し等により経費削減に務めている。

(淡路)

原材料高騰による販売価格への転嫁も落ち着き、売上、利益は現状横ばいで推移。但し更なる原材料、光熱費等の値上がりも予想されることから不安要素は拭いきれない。SNS 活用による高付加価値商品の開発、販売を促進していきたい。

(神明)

業況判断 D.I. の推移 (地区別)



(D.I.)

	24年3月 (前期)	24年6月 (今期)	24年9月 (見通し)
業況	-5.2	-12.2	-5.2
売上額(前期比)	-13.9	-4.3	0.9
収益(前期比)	-13.0	-12.2	-5.2
販売価格(前期比)	19.1	25.2	12.2
仕入価格(前期比)	27.0	47.4	31.3
人手過不足(過剰ー不足)	-13.9	-12.2	-12.2
資金繰り(楽ー苦)	-13.9	-8.7	-9.6
設備投資実施企業割合(%)	13.0	11.3	7.0

サービス業

前期

今期

来期

今期の業況判断 D.I. は▲10.4(前期▲4.3)となり6.1 ㊦悪化となった。地区別の業況は、淡路地区▲1.4(前期0.0)と悪化、神明地区は▲23.9(前期▲10.9)と大きく悪化している。来期の業況は、▲3.5と6.9 ㊦改善する見通しである。売上額・収益なども改善し増加する見通し、人手不足では少し改善されるも高い水準で不足が続く見通しとなる。

お客様の声

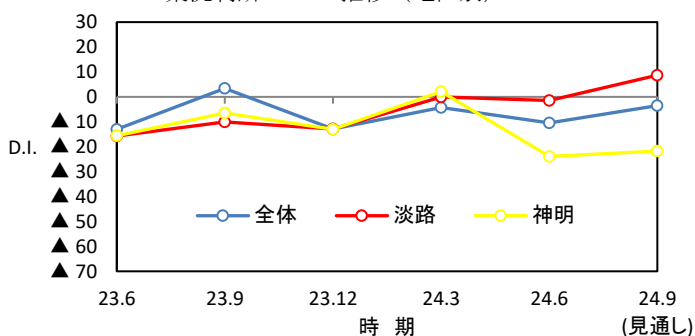
高品質なサービス提供、顧客満足度を向上させることで利用者の増加に繋がり業績は順調に推移、又、キャリアアップ支援を行い、やりがいや成長を促すなどキャリア形成に力を入れ、従業員の満足度を向上させている。

(淡路)

業況は前期比24%の増収、増益で推移する。エンジニアの人手不足は長年の経営課題であり、最近は新卒採用にも力を入れ、教育訓練を強化することで定着率を高めていきたいと考えている。

(神明)

業況判断 D.I. の推移 (地区別)



(D.I.)

	24年3月 (前期)	24年6月 (今期)	24年9月 (見通し)
業況	-4.3	-10.4	-3.5
売上額(前期比)	-4.3	5.2	11.3
収益(前期比)	-8.6	-4.3	4.3
販売価格(前期比)	12.9	19.1	14.8
仕入価格(前期比)	32.8	50.4	36.5
人手過不足(過剰ー不足)	-35.3	-29.6	-32.2
資金繰り(楽ー苦)	-12.9	-15.7	-6.1
設備投資実施企業割合(%)	18.1	13.9	20.0

建設業

前期

今期

来期

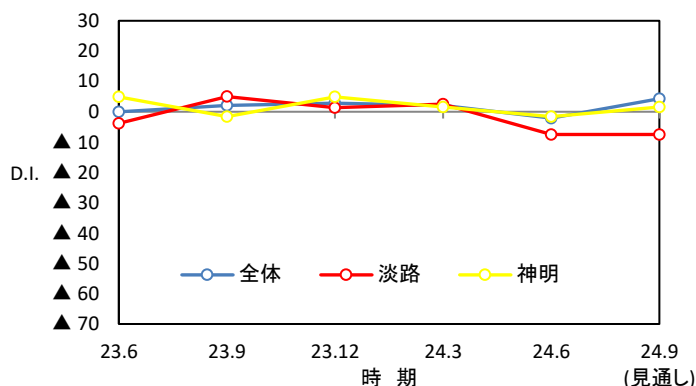
今期の業況判断 D. I. は▲2.1(前期 2.1)と 4.2 ㊦悪化となった。地区別の業況は、淡路地区は▲2.5(前期▲3.8)と 1.3 ㊦改善、神明地区は▲9.8(前期▲11.5)と 1.7 ㊦改善となった。来期は 0.0 と 5.7 ㊦改善する見通しである。人手過不足については▲40.4 と依然として慢性的な人手不足の状態が窺える。

お客様の声

地域の中核を担う企業で、公共・民間共に受注状況は好調に推移し業況は堅調。依然、人手不足の状況にあるも、雇用条件・環境の改善や中途採用の強化により同業他社に比して人材は充足されている。(淡路)

業況は安定的に推移、今後も大手企業の営繕工事受注により引続き安定した業績推移が見込まれる。人手不足が常態化していることが課題であり、募集を掛けても問い合わせもない状況である。(神明)

業況判断 D. I. の推移 (地区別)



(D.I.)

	24年3月 (前期)	24年6月 (今期)	24年9月 (見通し)
業況	2.1	-2.1	4.3
売上額(前期比)	1.4	1.4	6.4
収益(前期比)	-6.4	-9.9	-3.5
販売価格(前期比)	21.3	22.0	14.2
仕入価格(前期比)	42.6	52.5	37.6
人手過不足(過剰ー不足)	-46.8	-40.4	-44.0
資金繰り(楽ー苦)	1.4	-0.7	0.7
設備投資実施企業割合(%)	15.6	18.4	14.9

不動産業

前期

今期

来期

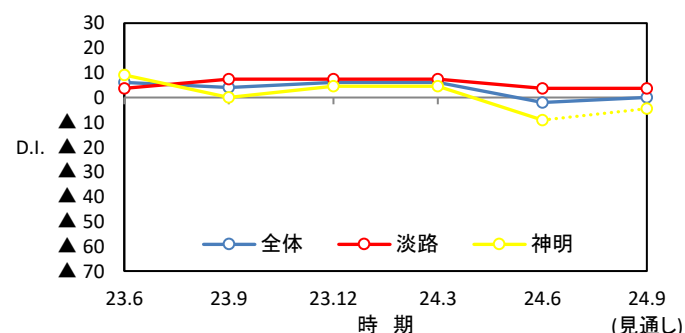
今期の業況判断 D. I. は▲2.0(前期 6.1)と 8.1 ㊦悪化となった。地区別の業況は、淡路地区は 3.7(前期 7.4)と 3.7 ㊦悪化、神明地区は▲9.1(前期 4.5)と 13.6 ㊦悪化となっている。全国的にも横ばいもしくは、低下傾向となっている。来期の業況は、0.0 と 2.0 ㊦改善する見通しである。

お客様の声

島外からの移住者を中心に中古住宅の販売は堅調に推移している。ここ数年同業者間の競争が激化しているが販売物件に大きな変化はなく、引続き顧客獲得のため宣伝・広告や他社との差別化に努めていく。(淡路)

住宅市場は昨年から活発な状況。しかし建築業者の人手不足も深刻で、建築スケジュールより大幅な遅延が発生している現場もある。また、価格帯については、仕入れコストも上昇していることから、価格転嫁などを実施し、利益率を維持している。(神明)

業況判断 D. I. の推移 (地区別)

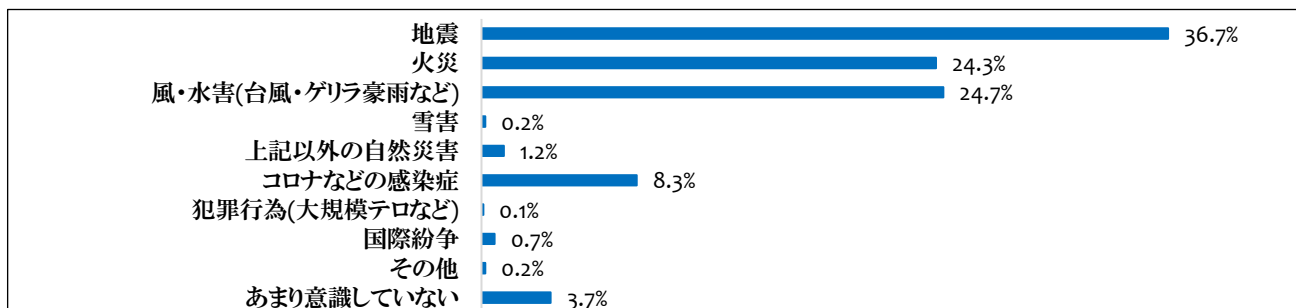


(D.I.)

	24年3月 (前期)	24年6月 (今期)	24年9月 (見通し)
業況	6.1	-2.0	0.0
売上額(前期比)	6.1	0.0	4.1
収益(前期比)	2.0	0.0	4.1
販売価格(前期比)	18.4	22.4	12.2
仕入価格(前期比)	26.5	30.6	16.3
人手過不足(過剰ー不足)	-6.1	-6.1	-6.1
資金繰り(楽ー苦)	0.0	-6.1	0.0

問1 普段どのような災害を意識していますか。

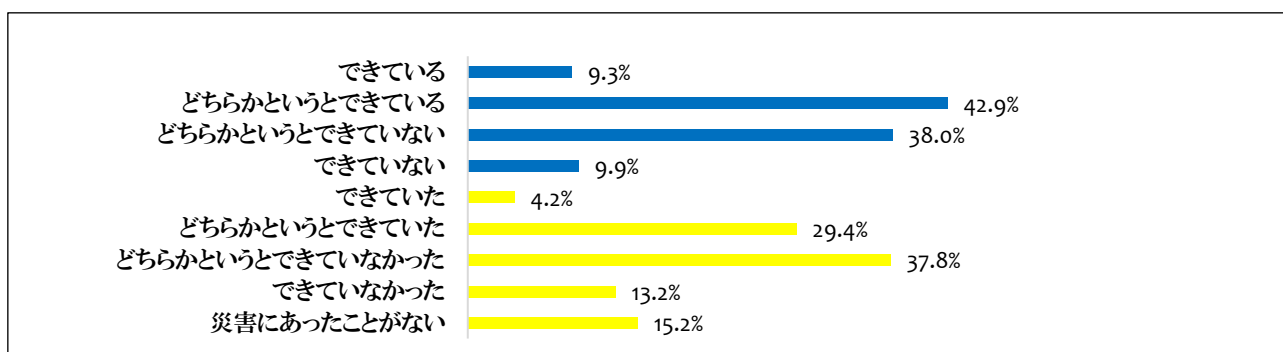
普段意識している災害については、「地震」が36.7%と最も高くなり、以下「風・水害(台風・ゲリラ豪雨など)」(24.7%)、「火災(24.3%)」、「コロナなどの感染症(8.3%)」と続いた。一方で、「あまり意識していない」は3.7%にとどまった。



問2 現在の災害への備えについてどのように評価していますか。実際に災害にあった際、それまでの備えについてどう感じましたか。

自社の現在の災害への備えについては、「できている(9.3%)」と「どちらかというときできている(42.9%)」に対し「できていない(9.9%)」と「どちらかというときできていない(38.0%)」がそれぞれ拮抗した。

実際に災害にあった際、自社のそれまでの備えについてどう感じたかについては、「できていた(4.2%)」と「どちらかというときできていた(29.4%)」に対し、「できていなかった(13.2%)」と「どちらかというときできていなかった(37.8%)」がそれぞれ拮抗した。※ 青(災害への備え) 黄(災害にあった際それまでの備え)

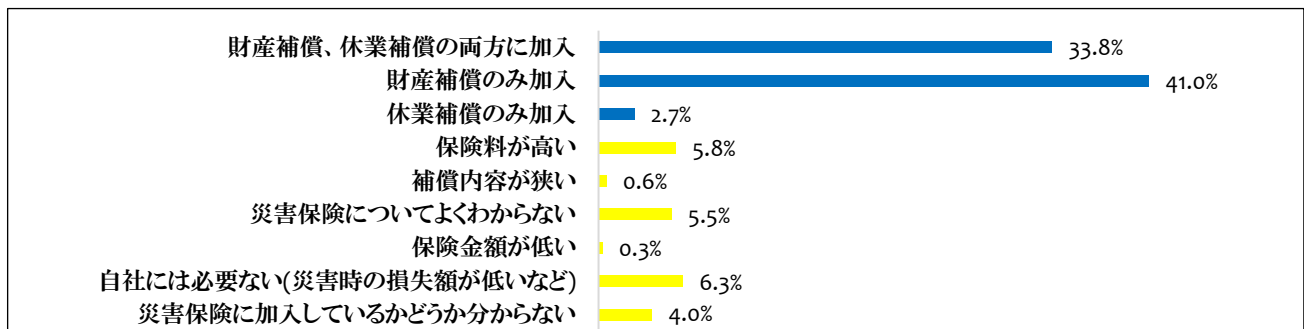


問3 事業継続にかかる保険、具体的には財産補償や休業補償に加入されていますか。加入している方はその内容、加入していない方はその理由。

事業継続にかかる保険、具体的には財産補償(設備や店舗が崩壊した時の補償)や休業補償(休業を余儀なくされた時の損害の補償)に加入しているか、という質問については、「財産補償、休業補償の両方に加入」が33.8%、「財産補償のみ加入」が41.0%、「休業補償のみ加入」が2.7%となり、合計で約4分の3が何らかの事業継続保険に加入していた。対して「財産補償、休業補償ともに未加入」は18.5%、「災害保険に加入しているかどうかわからない」は4.0%となった。

「財産補償、休業補償ともに未加入」の内訳については、「自社には必要ない(災害時の損失額が低いなど)」(6.3%)、「保険料が高い(5.8%)」、「災害保険についてよくわからない(5.5%)」と続いた。

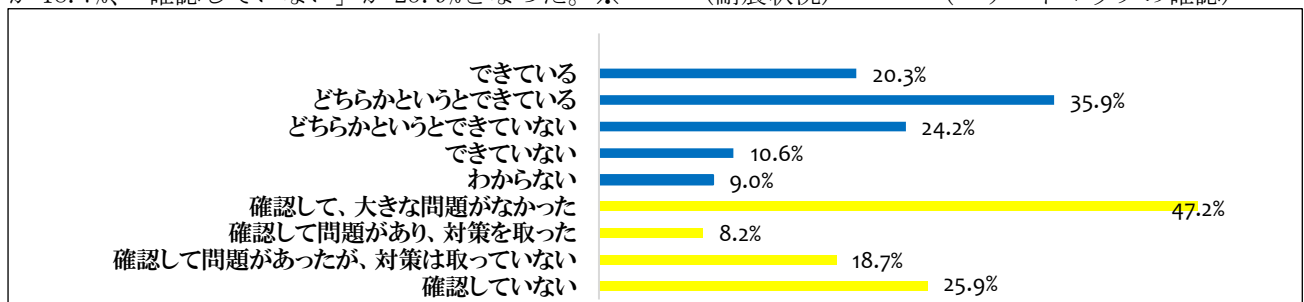
※ (加入されている方の内容) (加入していない方の理由)



問4 使用している建物の耐震について、どのように考えていますか。

自社所在地周辺のハザードマップを確認していますか。

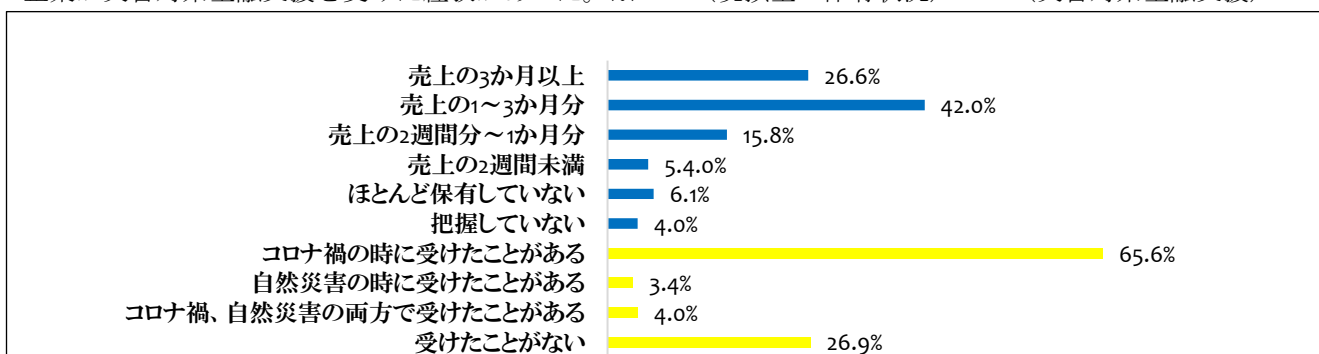
自社で使用している建物の耐震状況については、「できている」が20.3%、「どちらかというのでできている」が35.9%となり合計で全体の半分あまりにとどまった。対して、「できていない」が10.6%、「どちらかというのでできていない」が24.2%、「わからない」が9.0%となった。また、自社所在地周辺のハザードマップ(洪水や土砂災害、地震、津波など)の確認状況については、「確認して、大きな問題はなかった」が47.2%、「確認して問題があり、対策を取った」が8.2%であったに対して「確認して問題があったが、対策は取っていない」が18.7%、「確認していない」が25.9%となった。※ (耐震状況) (ハザードマップの確認)



問5 災害時への対応として、一定程度の現預金を保有しておくことがBCP策定基準などで推奨されています。貴社では、通常、現預金をどの程度保有していますか。(現預金の保有が最も少ない時期を想定) また、自治体や信用保証協会、政府系金融機関などの公的団体から、災害対策金融支援を受けたことがありますか。

現預金の保有状況(売掛金の回収直前など、現金が最も少ない時期を想定)については、「売上の3か月分以上」が26.6%、「売上の1～3か月分」が42.0%と、合計で6割強となった。「BCP策定基準」では、売上の1か月分以上の現預金を常に確保しておくことが推奨されているため、残りの3割以上の企業では、問題があるという結果となった。

災害対策金融支援については、「コロナ禍の時に受けたことがある」が65.6%、「自然災害の時に受けたことがある」が3.4%、「コロナ禍、自然災害の両方で受けたことがある」が4.0%となり、合計で7割超の企業が災害対策金融支援を受けた経験があった。※ (現預金の保有状況) (災害対策金融支援)





創業慶応元年(1865年)より南あわじ市福良の漁師町で手延べそうめんの製造販売を行っています。
金山家の祖先(渡 七平)が、お伊勢参りの帰りに三輪(奈良県)で約2年製造技術を学び、福良に持ち帰り漁師の副業として始まった淡路島手延べそうめん。
昔のながらの製造工程と伝統を守りながら、時代に合わせ、日々成長を続けています。



住所:〒656-0502 兵庫県南あわじ市福良乙 604 番地 2

TEL:0799-52-0268 FAX:0799-52-3868

アクセス:福良バスターミナルより徒歩 15 分、車で 3 分
駐車場 3 台

HP アドレス:<https://kanayamaseimen.com/>

【直営店】手延べそうめん処金山 ら福

住所:〒656-0501 兵庫県南あわじ市福良甲 1529 番地 3

TEL:080-8348-8954 土・日・祝日のみ営業

金山製麺のこだわり

traditional



淡路島手延べそうめんの特徴として、細くてコシの強いそうめんは、絲手師(いとでし)の手によって2日間掛けてじっくり丁寧に製造されています。



手延べそうめんを手軽に食べれるお店『手延べそうめん処金山 ら福』を地元福良でやっています。淡路島手延べそうめんの美味しさ、細くてコシの強さを是非とも食して頂ければ幸いです。





三ツ星蒲鉾有限公司

昭和28年、明石市「魚の棚商店街」にて創業。
70年以上の歴史に裏打ちされた確かな味で、世
代を超えて愛され続ける老舗練り物専門店です。

天ぷら・かまぼこ等、常時20種類、全50種にも
上る商品数で、明石随一の品揃えを誇っておりま
す。

～販売以外でのユニークな取り組み～



老舗の看板を守るのは、三代目店主の藤井
雄一。幼い頃から店を手伝うなかで、両親の働
く姿に憧れていた、根っからの練り物屋気質で
す。大学卒業後と同時に家業に入り、この道一
筋 30 年。祖母の代から受け継ぐ“三ツ星”の味
と伝統を、時代に調和させてきました。

当店の看板は、国内外の TV 等で紹介される
動く「たこの看板」。なんと、小学校の教科書に
も取り上げられています。

どうぞ一度、「見学」に「食べ」に、魚の棚を訪
れ、店に立ち寄り【美味しい】と感じて下さい。

住 所 明石市本町1丁目1-11 魚の棚商店街内



TEL/FAX 078-911-2525

アクセス JR・山陽明石駅より南へ徒歩5分

ネットショップ <http://www.akashi-mercato.jp/shop>



魚の棚商店街の東側入口から少し進むと目に
飛び込んでくる【巨大なタコのオブジェ看板】



大好評【くじ付き天ぷら】

淡路信用金庫 明石支店様との話し合いにより
誕生しました。

斬新過ぎると話題になり、若い世代のお客様
の評判となっております。



(三ツ星蒲鉾 QR)



(ネットショップ QR)